

自己評価（前年度）

※「幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価」のチェック項目を用いて自己評価しています

幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価				
データ分析表	データ表			データグラフ
	内容	項目数	平均	
	「乳児保育」	15	4.73	
	「3歳未満児保育」	32	4.66	
	「3歳以上児保育」	53	4.45	
	「教育保育の配慮事項」	16	4.31	
	「健康・安全」	29	4.45	
	「子育ての支援」	15	3.93	
	「職員の資質向上」	6	3.83	
計	166	4.43		
総合評価	<p>開園当初、すぐには落ち着ける環境に繋げることが難しかったが、日々の生活の中で個別の関わりを心掛け、気づきを活かした丁寧な対応をしていく中で、徐々に心地よい環境へと繋がっていった。また、保護者との関わりも大切にしてきたことで、少しずつ信頼関係も深まったように思われ、日々の積み重ねの大切さを感じる一年だった。今後は、この人的・物的環境を継続しつつ、コロナ禍の情勢を考慮しながら、保護者・地域との共有や連携、協同を課題として取り組んでいきたい。</p>			

事業計画（今年度の重点目標）

項目	内容
職員・職員の家族との「信頼」の構築	<p>－意欲ある職場環境－</p> <p>担当部署会議において、担当児及び担当プロジェクトについて、語る場を持つ（12回/年）</p>
子ども・高齢者・障害者との「信任」の構築	<p>－自己決定と選択の尊重－</p> <p>自己評価時に、担当部署で「自己決定」が尊重される環境の検証をし、見直しをする（年2回）</p>
地域との「信認」の構築	<p>－地域貢献事業の推進－</p> <p>地域における自主活動の検討をし、実施する（2回/年）</p>